

日高日和 COLLECTION

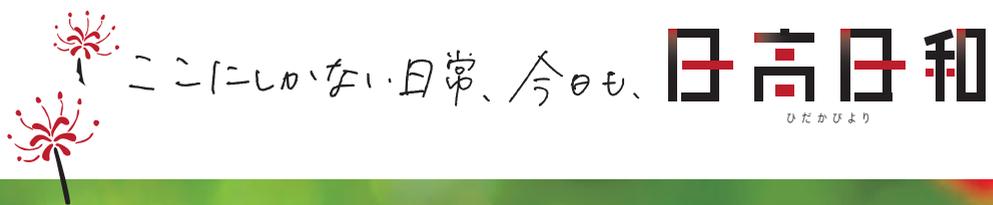
日高市で暮らす皆さんの笑顔を集めました。



日高市市勢要覧
日高日和

令和3年10月発行
企画・編集：日高市総合政策部市政情報課
〒350-1292 埼玉県日高市大字南平沢1020番地
TEL. 042-989-2111(代表) FAX.042-989-2316





市制施行30周年だからこそ

日高市は、令和3(2021)年10月1日に市制施行30周年の節目を迎えました。この市勢要覧「日高日和(ひだかびより)」は、日高市の歴史・文化を振り返って学び、活気あふれる市民の皆さんの様子や、ふるさとの美しい情景や取り組み、また日高市ならではのグルメなど、日高市の魅力を再発見していただくために作成しました。「これまでの日高」また「これからの日高」を感じてみてください。



日高市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された平成28(2016)年から令和12(2030)年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

日高市では、その考えを踏まえ主要施策ごとに対応するゴールを設定し、計画を推進しています。

Contents

- 文化 04_09 高麗神社／高麗郡建郡1300年／高麗家住宅／聖天院／高麗郷古民家
- 自然 10_15 横手溪谷・高麗川／巾着田／日和田山 ほか
- 食 16_19 特産品・栗／サイボク／加藤牧場パッフィ
- 暮らし 20_27 インタビュー「香胡園 鈴木香純さん」／子育て・教育／高齢者・福祉／データで見る日高市／日高市までのアクセス／日高市のあゆみ／日高市のこと

首都近郊に位置しながら、手軽に山登りが楽しめる日和田山や秋には500万本の曼珠沙華が咲き誇る巾着田など豊かな自然が広がる日高市。

これらの自然と一体となり、先人たちがこの地に築き上げてきた大切な歴史や文化が今も色濃く残ります。

日高市の「住み続けたい 来てよかった 住んでよかった」と思える魅力をお届けします。

高麗王若光を偲び、「開運出世」にあやかる

こまじんじゃ
高麗神社
KOMA SHRINE



本殿入り口に立つ御神門。中央に掛けられている扁額には「高句麗神社」の文字が。明治33年に参拝した朝鮮王朝の貴族 趙重応の筆によるもの。



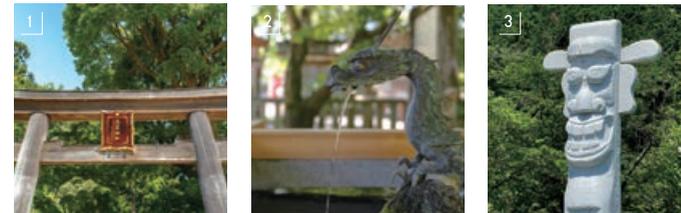
伝統的な日本の神社様式でありながら、韓民族の文化の香りが感じられる境内。参集殿前庭には樹齢300年の御神木が鎮座する。



高麗郡のリーダーとして、この地に移住した1799人の高麗人を率いて開拓を行い、地域の発展に尽くした高麗王若光を主祭神として祀る神社。「高麗家系図」によると若光が亡くなった後、高麗郡民は霊廟を建て「高麗明神」と崇めました。これが8世紀にできた高麗神社の始まりと考えられています。高麗神社はその後若光の子孫である高麗家によって守られ「高麗大宮明神」「白髭大明神」とも呼ばれました。若光は、後年白いひげを生やしていたことから「白髭様」と言われていたとする伝説もあります。神仏分離令が出されてからは、「高麗神社」と称するようになりました。近代になってからは、6人もの政治家が参拝後に内閣総理大臣に就任したことから「出世明神」とも呼ばれるようになりました。それ以来、出世開運のご利益を求め、著名人や成功を願う多くの人々が参拝しています。また、祭祀は高麗家の子孫に脈々と受け継がれ、1300年・60代に渡って続いていることから、子孫繁栄を願う人々が訪れるなど、地域の篤い崇敬を受けています。毎年10月には江戸時代から伝わる、獅子舞行事が行われます。



日高市新堀833



- 1. 二ノ鳥居に掛かる扁額は、第59代高麗家当主の書によるもの
- 2. 手水舎では、邪気を払う龍がお出迎え。身を清めて参拝へ
- 3. 朝鮮半島の習俗である將軍標。魔除けや道標の役割を担う

8 働きがいも 経済成長も 11 住み続けられる まちづくりも 12 つくも責任 つかう責任

日高市の歴史に迫ってみよう! 地名に宿る、高句麗の文化



文化 | こま ぐん けん ぐん 高麗郡建郡1300年 KOMAGUNKENGUN 1300TH

日高市には「高麗」(こま)や「高麗川」などの地名があります。これらは、古代朝鮮半島の「高句麗」(こうくり)にゆかりを持つものです。今から約1300年前の716年、高句麗から渡ってきた関東各地の渡来人が、朝廷によって現在の日高市を中心とした地域に集められ「高麗郡」が設置されました。高麗郡は1896年に入間郡に組み入れられましたが、その足跡は続日本紀や、さまざまな遺跡の中に見ることができます。

高麗郡ができた時、リーダーに任命されたのが朝廷から「高麗王」の姓を与えられていた「高麗王若光」(こまのこきしじゃっこう)です。若光は当時休閑地だった高麗郡の開拓を行い、道路を敷き、水路をつくるなど、郡の発展に寄与しました。日高市では平成28(2016)年に「渡来から未来へ」をテーマに高麗郡建郡1300年記念祭を開催しました。



記念祭「にじのパレード」

高句麗古墳壁画をモチーフに、現代風にアレンジした「高句麗衣装」を身に纏い市民が主役となったパレード。7色に輝く衣装、建郡当時は7つの国から移住、また716(なないろ)年に建郡されたことから「にじのパレード」と名付けられました。



高麗家の暮らしがわかる、入母屋造りの茅葺民家

文化 | 高麗家住宅 STRUCTURE OF THE KOMA FAMILY RESIDENCE

高麗神社の隣接地にあり、代々神社の祭祀を勤めてきた高麗家の住居として使われていた国指定重要文化財の茅葺きの入母屋造りの建物です。17世紀後半(江戸時代前半)の建築と推定され、現在の姿は昭和51(1976)年の解体調査を経て、建設当時の姿を復元したものです。大黒柱がなく、細い柱で梁を支えているのが特徴です。土間と5つの部屋から構成される建物内部には囲炉裏やかまど、昔の生活道具も置かれ、当時の暮らしをうかがい知ることができます。春には樹齢400年のしだれ桜が、高麗家住宅を華やかに彩ります。



日高市新堀850



地域の人々に愛された、高麗王若光が眠る寺院

文化 | しょう でん いん
聖天院
 SHODENIN

高麗王若光の没後、751年にその菩提を弔うため僧勝楽により開基、若光の子・聖雲と三代目・弘仁によって建立されました。当時、若光が祖国から守護仏として持って来た聖天歡喜仏を本尊としていたため、聖天院勝楽寺と名づけられました。境内には若光の墓のほか、日本最大級の石塔である日韓民族慰霊塔や韓民族の偉人の石像が並ぶなど、異国情緒豊かな空間が広がっています。また、江戸時代後期に建立された山門は、左右に風神・雷神を祀った重厚な建築物で、市指定文化財となっています。武蔵野三十三観音霊場札所の一つとしても知られています。



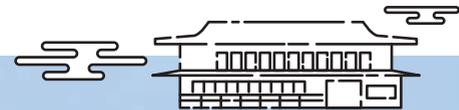
- 4 質の高い教育を
かんたんに
- 8 働きがいも
経済成長も
- 11 住み続けられる
まちづくりを
- 12 つくる責任
つかう責任



若光の墓といわれる高麗王廟



📍 日高市新堀990-1



地域を治めた名主の暮らしに思いを馳せる

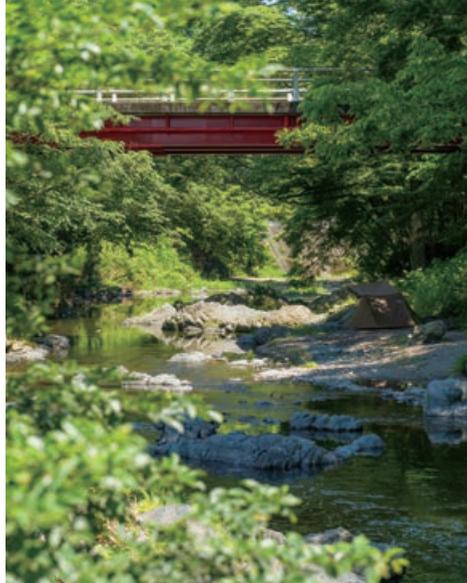
文化 | こ ま ごう こ みん か
高麗郷古民家
 KOMAGO OLD TRADITIONAL HOUSE

高麗本郷村の名主だった新井家の邸宅で、江戸時代末から明治時代前半に建てられ、平成26(2014)年に国の登録有形文化財に登録されました。母屋と客殿を中心に納屋と2棟の土蔵で構成され、通りに面した箇所には人目を引く石垣や白壁が築かれています。客殿に賓客を迎えるための式台があり、豪華な向唐破風の屋根や彫り物を配するなど、格式高い造りになっています。施設の一部は、イベント等で使用することも可能。巾着田曼珠沙華公園を見下ろす高台にあり、四季折々の美しい景観を望むことができます。



📍 日高市高麗本郷245

- 4 質の高い教育を
かんたんに
- 8 働きがいも
経済成長も
- 11 住み続けられる
まちづくりを
- 12 つくる責任
つかう責任



高麗川は、奥武蔵の山々の豊かな自然から流れ出た川で、関東有数の水質を誇ります。その流れは、日高市の代表的な景観を生み出しながら、いくつもの橋をくぐり、人々の暮らしや動植物の生活を彩っています。なかでも、横手渓谷は高麗川上流に位置し、奥武蔵の山々に囲まれた美しい渓谷です。新緑や紅葉など、四季を通じて味わい深い景色が広がります。

日高市では、埼玉県と取り組んできた「高麗川まるごと再生プロジェクト」などに合わせて、遊歩道整備や景観配慮看板の設置、公衆トイレ改修や魚道整備などを進めています。

- 1. 夏には涼を求めて川遊びで1日楽しめます
- 2. 市の鳥でもある「カワセミ」は水質のよいところに生息します。会えたらラッキー!



古くから人と関わり育んできた美しい自然

自然 | よこてけいこくまがわ川 YOKOTE KEIKOKU VALLEY • KOMAGAWA RIVER





日本最長級の木製トラス橋「あいあい橋」[彩の国さいたま景観賞]受賞(平成8年)

川がつくった不思議な地形の観光スポット

自然 | きん ちゃく だ
巾着田
KINCHAKUDA



長い年月をかけて高麗川の蛇行によりできた巾着田は、その地形がきんちゃくの形に似ていることから名付けられました。直径約500mの平地の公園になっており、バーベキューや水遊びなども楽しめます。

📍 日高市高麗本郷125-2

4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任 つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう	



赤いじゅうたんを敷き詰めたみたい!

自然 | 曼珠沙華群生地
RED SPIDER LILIES



9月中旬から10月上旬にかけて、巾着田曼珠沙華公園では、辺り一面に500万本の曼珠沙華(ヒガンバナ)が咲き誇ります。毎年開花時期には「巾着田曼珠沙華まつり」が開催され、賑わいます。

平成29(2017)年には、当時の天皇皇后両陛下が私的旅行でご訪問されました。

6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任 つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう

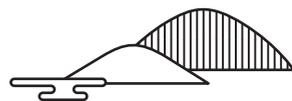
山頂からは日高市が一望できる歩きやすい山

自然 | 日和田山 Mt. HIWADA



日和田山は、標高約305mの山で日高市のシンボルとして親しまれています。ハイキングコースも整備され、いろいろな登り方が楽しめます。山頂付近に立つ二の鳥居からは、巾着田を形作る川の蛇行が一目みて分かります。

また、天気の良い日には新宿の高層ビル群や東京スカイツリーも見ることができます。



「男坂」と「女坂」の分岐点にある一の鳥居。「男坂」「女坂」と呼ばれる道があり、男坂は岩場となっています。



豊かな自然と文化をまるっと知ろう

自然 | 遠足の聖地 ENSOKU NO SEICHI

日和田山をはじめとする奥武蔵の山々、清流高麗川と花の巾着田、高麗神社や聖天院など、高麗郷一带に、より多くの皆さんが訪れていただけるようPRしていくため、「遠足の聖地プロジェクト」に取り組み、平成29(2017)年に「遠足の聖地」を宣言しました。



第1回日本国際観光映像祭 旅ムービー部門 最優秀賞受賞(平成31年3月)

「大人になっても遠足したい!行こう!遠足の聖地へ!」日高市初の公式シティプロモーションムービー。「遠足の聖地」をテーマに、自然や歴史などさまざまな魅力に触れながら、「大人の遠足」を楽しむ男女4人の姿を描いた作品です。





高麗川モンブラン

栗の豊かな香りが鼻に抜け、栗本来の甘みを大切に仕上げた一品

四季の菓子工房シャロン / 日高市高麗川1-7-8

召し上がれ!秋のお楽しみ

食 | **特産品・栗**
SPECIALTY PRODUCTS・MARRON



高麗川マロン

日高ぼロン(ぼろたん)

埼玉県内随一の栗の産地である日高市には「高麗川マロン」と「日高ぼロン」という2大ブランド栗があります。

「高麗川マロン」は、粒がとても大きいのが特徴で、大きなものだと1粒30g以上にもなり、堂々たる姿です。

「日高ぼロン」は、渋皮が簡単にむけるのが大きな特徴で、食べやすく、加工しやすいことでも人気です。秋には市内のさまざまなお店で、日高市の栗を使った加工品が多く作られ、大変人気があります。ここでしか味わえない特別な栗やスイーツをぜひ堪能してみてください。



栗のショートケーキ▶

マロンペーストの入った生クリームショートケーキ。やさしく上品な甘さが人気! ※ケーキのみのテイクアウトはできません

自家焙煎珈琲ジュリアン / 日高市田波目779-4



栗あんぱん▶

ごろっとした栗とあんこが入った、どこか懐かしいあんぱん。ふんわりとした生地がやさしい味

ふわふわベーカリーカフェ / 日高市梅原48-6

栗蒸しようかん▶

栗がたっぷり入って食べたえあり! 栗ならではの食感と、ようかんのしっとりした味わいが楽しめる

四季菓 りょう / 日高市女影新田35-1



栗こま娘▲

40年以上愛されている看板商品。しっとりした生地、栗を一粒まるごと包み、焼き上げた一品

栗こま娘本舗 亀屋 / 日高市原宿45-1

もんぶらんでーけーき▲

栗のお酒「すっきりまっくり」と栗のペーストを練り込んだブランデーケーキ

株式会社クリメン

くり甘酒▲

麴専門店が米麴と日高の利平栗のみを発酵させて仕上げた、まるやかで極上の甘みとコクの甘酒

株式会社クリメン

高麗川ブラウン▶

高麗川マロンの渋皮煮をふんだんに使用した栗のテリーヌ。日高市×(株)かにや×女子栄養大学の共同開発で2017年に誕生

かにや高麗川店 / 日高市高麗川11-13-6

栗匠 栗饅頭▲

渋皮煮を丸ごと饅頭に詰め込んだ、サクサク・ふんわり・ホロホロの栗まんじゅう

かにや高麗川店 / 日高市高麗川11-13-6

栗のジェラート▼

栗の甘露煮と自社牧場の新鮮な牛乳でつくった贅沢なジェラート

加藤牧場パッフィ / 日高市旭ヶ丘572

お月見マロン▼



まるんブレッド▼

栗のあんがたっぷり入った「まるんブレッド」と「お月見マロン」が人気。栗あんとチーズを合わせた「ぱりぱり栗チーズ」は不思議な食感がやみつき!

村のパン屋さん メルシービアン / 日高市女影1696-8

▲ぱりぱり栗チーズ



食と健康を中心とした豚のテーマパーク

食 | サイボク
SAIBOKU



創業1946年。自らの手で「育て、作り、届ける」一貫体制を行う豚肉専門店の「サイボク」。丹精込めて職人が作る製品は「自分の家族に食べさせたいものを作る。」ことをモットーにしています。
敷地内には、ミートショップ、キッチン・カフェテリア、新鮮野菜の直売所楽農ひろば、レストラン、緑の芝生が広がるアスレチックサイボクの森、天然温泉花鳥風月があり、一日楽しめます。



[欧州食品品質コンテスト]
1997年の初挑戦から金メダル総数1000個受賞

📍 日高市下大谷沢546



搾りたて牛乳でつくるフレッシュなアイス

食 | 加藤牧場バッフィ
KATOU BOKU JOU BAFFI

飼育から、乳製品の加工・販売を行っている「加藤牧場」では、飼育している乳牛の、搾りたて牛乳でつくる手作りのソフトクリームやジェラートが人気。ほかにも牧場に併設されているショップやレストランにはたくさんの乳製品があります。牧場見学やバター作り体験、乳搾り体験もできます。

📍 日高市旭ヶ丘572



搾りたての鮮度そのままに殺菌した「ノンホモ低温殺菌牛乳」



濃厚カマンベール
[ジャパンチーズアワード2018銀賞]受賞

日高市で育てる、自然栽培の国産ごま

暮らし | 香胡園 KAGOEN

東京から移住し、金ごまの専業農家へ

国産ごまの自給率は0.1%未満。そんな現状を変えたいと、金ごま栽培に取り組む鈴木香純さん。高校時代、体調不良をきっかけに食や農に関心を持つように。その後、自然食品会社で働く傍ら「日常で食べるものを、自分の手で作りたい」と有機農業を始めたのが、ごま栽培との出会いでした。2020年には専業農家として独立。それに先立ち、東京から元々畑のあった日高市に移住しました。

市や地元の人々のサポートを受けながら前進

独立後は、日高市の認定新規就農者となり、市の補助金を受給。新規農地のあっせんなど、さまざまなサポートを得てきました。夏の暑い日の畑作業中、冷たい飲み物を差し入れてくれる方もいて、日高市の人の温かさにも助けられています。畑作業がない日は地元の仲間づくりをするのも楽しみの一つ。

鈴木香純さん

香胡園代表。1994年東京生まれ。2019年に日高市に移住。現在、市内の6つのごま農場で、日高市の就労継続支援B事業所「四季の郷」と協働して、金ごまの生産・販売に取り組む。



1鞘にできるごまは約80粒



8月下旬～10月までがごまの収穫期間
茎の下から徐々に実ができる



一緒に作業をしている「四季の郷」の皆さんと

ごまの生命力を信じ、たくましく育てたい

香胡園のごまは、在来種の「金ごま」。肥料や農薬などを使用せず、畑から取れた種を翌年植える自家採種を行っています。手作業に近い形なので手間がかかりますが、天候不良や害虫に負けずに、自然栽培で生き残ってきた種ならではの強さとたくましが美味しさに繋がると信じています。

message / 日高の地が誇る香り高い「金ごま」ができるよう、チャレンジし続けたいと思います!

- 2 食料をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
8 働きがいも経済成長も
10 人や国の不平等をなくそう
15 陸の豊かさも守ろう

子どもがのびのびと成長し地域の絆で育むまち

暮らし | 子育て・教育 PARENTING EDUCATION

安心して子育てができ、子どもがのびのびと育つよう、子育てを全力で応援します。また、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を通して児童生徒の能力と個性を引き出し、自ら考え、自らの手で未来社会を切り拓く力を育むまちを目指します。

— 子育て支援

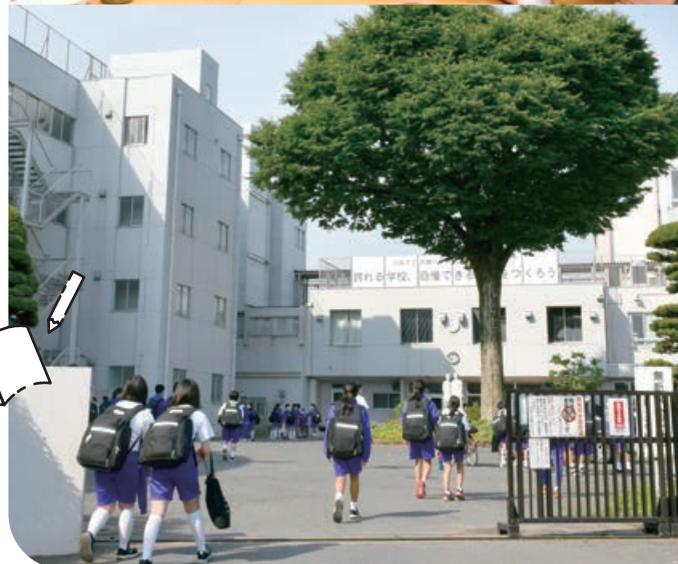
次世代を担う子どもを安心して産み、育てることができる環境をつくりまします。

— 学校教育

地域とともにある学校で児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成し、主体性と思いやりの心を持つ人を育てます。

— 青少年健全育成

地域と連携・協働した教育の推進により、学校、家庭、地域が一体となり、次世代を担う子どもたちの健全な育成と郷土愛の醸成を図ります。



健やかに暮らし互いを認め合い支え合えるまち

暮らし | 高齢者・福祉 ELDERLY WELFARE

誰もが健やかで自立した生活を送ることができるよう、医療・福祉などの関係機関とも連携して、互いを認め合い、支え合って人の絆を大切にす地域づくりを目指します。

— 高齢者福祉

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援し、生きがいづくりや自主的な社会参加活動を推進します。

— 地域福祉

一人一人が尊重され、健やかに暮らせるよう、地域で共に助け合い、支え合う地域社会の実現を図ります。

— 障がい者福祉

障がいのある人が、その人らしく安心して地域で生活が送れるよう、一人一人の状況に応じたサービスの提供に努めるとともに、社会参加や就労の促進を図ります。

— 健康づくり

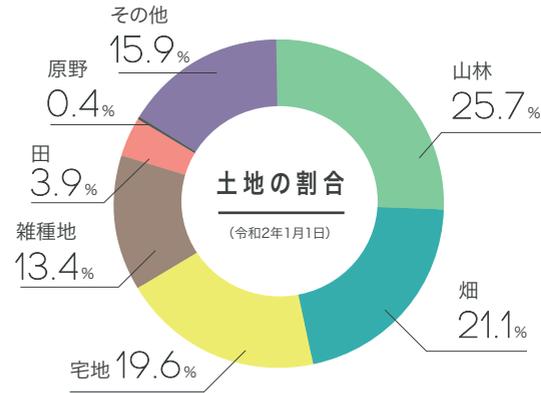
市民が健康で生き生きと暮らせるよう、一人一人の主体的な健康づくりと個人の取組を支援できる社会づくりを目指します。



データで見る日高市

日高市は、埼玉県の南西部に位置し、ちょうど埼玉県をそのまま小さくしたようなかたちをしています。西部地域は山岳丘陵地帯で、中央部から東部地域にかけては平地が広がり、関東平野を一望できます。

このような地勢から、気候は一年を通じて温暖な内陸性の気候であり、災害に強い安全なまちです。



駅の年間利用者数

(令和元年度) ※西武鉄道(乗降人員)、JR(乗車人員)

西武鉄道 武蔵横手駅	107,970人
西武鉄道 高麗駅	950,502人
JR 高麗川駅	1,640,778人
JR 武蔵高萩駅	1,259,772人

日高市までのアクセス

日高市は、埼玉県の南西部に位置し、首都40キロメートル圏内にあります。東西約11.1キロメートル、南北約6キロメートルで、東は川越市、南東は狭山市、南西は飯能市、北は坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町に接しています。

西部は秩父山地と高麗丘陵で、標高100~300mの丘陵地帯です。そして丘陵と台地の間を高麗川が東に流れています。

市の東側に首都圏中央連絡自動車道(圏央道)と国道407号、西側に国道299号が走り、県道川越日高線がこれらを結んでいます。

鉄道はJR八高線とJR川越線、西武池袋線が乗り入れています。これらの交通網が整備され、地域の特性を生かしたまちとして発展しています。



日高市のあゆみ



平成3年10月	日高市が誕生
平成7年2月	「ふれあい清流文化都市」宣言
平成8年3月	首都圏中央連絡自動車道一部開通(関越自動車道鶴ヶ島JCT~青梅IC)
平成8年4月	日本最長級の木製トラス橋「あいあい橋」完成
平成8年10月	大韓民国烏山市と友好都市を締結
平成9年4月	総合福祉センター「高麗の郷」開設
平成14年5月	文化体育館「ひだかアリーナ」開館
平成14年11月	可燃ごみ処理を太平洋セメント株式会社によるごみ資源化処理に移行
平成16年10月	第59回国民体育大会「彩の国まごころ国体」弓道競技会開催
平成21年4月	日高市マスコットキャラクター「くりっかー・くりっぴー」誕生
平成23年11月	日高クリーン宣言
平成25年8月	高麗川駅西口土地区画整理事業完成
平成28年5月	高麗郡建郡1300年記念祭
平成28年10月	市の花に曼珠沙華を追加指定
平成29年4月	「遠足の聖地」宣言
平成29年9月	当時の天皇皇后両陛下による行幸啓
平成31年4月	大相撲日高場所開催

日高市のこと



市章

ひだかの「ひ」を図案化したもので、市の発展、融和、親睦を象徴しています。



シンボルマーク

市民のふるさとを愛する心と未来へ大きく飛躍・躍動する姿を象徴しています。



マスコットキャラクター

「くりっかー」「くりっぴー」市の鳥「カワセミ」をモチーフに、特産品の「栗」の形をした体、頭には「曼珠沙華」の花をあしらったものです。

市の花木鳥



市の花 ハギ



市の木 モクセイ



市の花 曼珠沙華



市の鳥 カワセミ



ごあいさつ

日高市は、本年10月に市制施行30周年を迎えました。首都近郊に位置しながら、手軽に山登りができる日和田山や秋になると500万本の曼珠沙華の咲き誇る巾着田など、豊かな自然が広がるまちです。

この市勢要覧「日高日和」では、自然や文化、歴史など日高市の魅力を紹介しています。多くの皆様に、日高市に「住み続けたい 来てよかった 住んでよかった」と思っていたら幸いです。

日高市長 谷ヶ崎 照雄